神山町土砂災害ハザードマップ

困った時の連絡先

【警察　　110番】　徳島名西警察署　TEL 088-674-0110
【消防・救急 119番】　石井庁舎　TEL 088-676-1199
神山消防署　IP　050-2024-2119

神山町への連絡先

神山町役場 総務課　TEL 088-676-1111 / IP 050-2024-2001
〒771-3395　神山町神領字本野間１００

避難情報

防災情報を５段階の警戒レベルにより、皆さんの取るべき行動を明確にしました。
レベル5ではすでに災害が発生している状況です。レベル３の「避難準備/高齢者等避難開始」やレベル4の「避難勧告」「避難指示（緊急）」の段階では、地域の皆さんで声を掛け合い、安全・確実に避難することが重要です。

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難の情報	雨の情報	川の情報
5	命を守って！	災害発生	大雨 特別警報	氾濫 発生情報
4	全員避難	避難指示(緊急)・避難勧告	土砂災害 警戒情報	氾濫 警戒情報
3	高齢者など避難	避難準備	大雨・洪水 警報	氾濫 警戒情報
2	避難方法 確認	―	大雨・洪水 注意報	氾濫 注意情報
1	最新情報に注意	―	早期 注意情報	―

※避難勧告などが出されなくても「自分の身は自分で守る」という考えのもと、身の危険を感じたら、自発的に避難してください。

土砂災害から身を守るために

土砂災害は予測の難しい災害です。
次の３つのことについて知っていただき、安全に避難できるようにしましょう。

住んでいる場所が土砂災害警戒区域等か確認しましょう。

徳島県では、土砂災害の発生する恐れのある区域を「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」として指定を進めています。
お住まいの場所が土砂災害警戒区域等などに指定されているかどうか土砂災害ハザードマップや県のホームページで確認しましょう。

※現在、土砂災害警戒区域等の指定が完了していない箇所もあるため、「土砂災害危険箇所」も併せて確認してください。
■徳島県の土砂災害警戒区域等の指定状況はこちらでも確認できます
徳島県　防災・減災マップ
：https://maps.pref.tokushima.lg.jp/bousai/

土砂災害警戒区域	土砂災害が発生した場合、住民等の命や身体に危害が生じるおそれのある区域（土砂災害防止法に基づき指定）
土砂災害特別警戒区域	土砂災害が発生した場合、建物に被害が生じ、住民等の命や身体に著しい危害が生じるおそれのある区域（土砂災害防止法に基づき指定）
土砂災害危険箇所	徳島県が調査し、土砂災害発生のおそれがあるとして公表した箇所

土砂災害警戒情報に注意してください。

大雨によって土砂災害が発生する危険度が高まった時には、「土砂災害警戒情報」が発表されます。
町の防災行政無線や広報車による呼びかけにも注意してください。

■徳島県の土砂災害情報はこちらで確認できます
気象庁：http://www.jma.go.jp/jp/dosha/

土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難を！

土砂災害警戒情報が発表されたら、身の回りに注意し、近くの避難場所など安全な場所に避難しましょう。
夜間に大雨が予想される場合には、暗くなる前に避難することがより安全です。
また、豪雨などで、近くの避難場所に避難ができない場合は、近くの頑丈な建物の２階以上のところへ避難し、山側と反対の部屋など少しでも安全な場所に避難しましょう。

土砂災害の前兆

長雨や豪雨、地震が発生した場合には土砂災害に注意してください。
１時間に50ミリを越える強い雨が降り始めると、土石流などの大規模な災害が発生する可能性があります。
以下のような前兆があった時は十分に注意し早めに避難してください。

がけ崩れ

集中豪雨や長雨などにより、斜面が突然崩れます。

【がけ崩れの前兆】
- 地鳴りの音が聞こえだした
- 川の水が急に増えたり、にごった水が流れてきた
- 山の斜面に水の流れが現れた
- がけに亀裂が発生したり、小石が落下してきた

地すべり

斜面が地下水等の影響により、広範囲で、ゆっくりと地面がすべります。

【地すべりの前兆】
- 地面のひび割れ
- 井戸水がにごったり、水量が急に変化した
- 斜面から水が吹き出した

土石流

谷や斜面にたまった土砂が集中豪雨による水といっしょに、一気に流れ出てきます。

【土石流の前兆】
- 山鳴りがしだした
- 雨が降っているのに川の水位が下がった
- 川がにごったり、流木が流れ出した

大雨・台風・洪水災害

台風や大雨・豪雨は河川の増水や土砂くずれにつながり、大きな災害にもなる場合があります。神山町では、昭和50年(1975)８月の台風６号により、道路の決壊や山崩れが発生し、道路が土砂に埋まり、一時、町が孤立状態になりました。
このような災害に備えて、事前に準備し、安全に避難できるようにしましょう。

大雨・豪雨

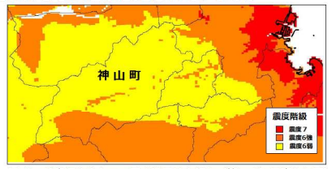
- 大雨などの場合、河川が増水し急激に水位が上がる場合があります。避難経路が安全なうちに早めに安全な場所に避難するようにしましょう。
- 川の水際でいる場合、その場では雨が降っていなくても、上流で大雨が降ると、河川の水位が急に上がることもあります。少しでも川の流れに異変を感じたら、川から離れできるだけ高いところに避難してください。

台　風

- 台風などの影響で停電する場合があります。
懐中電灯や携帯ラジオを準備しておきましょう。
- 気象情報に注意し、むやみに外出しないでください。
停電や断水などに備えて、食料品や飲料水を確保しておいてください。

地震災害

徳島県が発表した「南海トラフ巨大地震による震度分布」によれば、現在発生しうる最大規模の予想震度は、鮎喰川沿いや南部山間部の一部で震度６強、その他の地域では震度６弱の強い揺れになることが想定されています。



（出典：徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第一次）震度分布図）

地震が発生したら

- 揺れを感じたらテーブルや机の下に隠れて身を守りましょう。
- ドアや窓を開けて出口を確保してください。
- 火災が発生しないよう、ガス、ストーブなどの火は素早く消してください。
- 地震の発生により、古い木造家屋の倒壊や火災の発生、さらには土砂災害なども起きる可能性があります。揺れがおさまっても２次災害に注意し避難するようにしてください。

わが家の防災メモ

いざというときに、家族やあなたの周りの人と連絡が取れるよう、避難場所や連絡先を確認しておきましょう。

わが家の避難場所	
家族が離ればなれになったときの 集合場所	
緊急連絡先	自宅 / 携帯
その他の連絡先	自宅 / 携帯

家族やまわりの人たちの連絡先

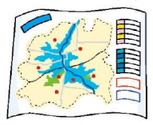
名　前	生年月日	血液型	職場や学校	携帯電話／メールアドレス
				自宅
			電話	携帯
				自宅
			電話	携帯
				自宅
			電話	携帯
				自宅
			電話	携帯
				自宅
			電話	携帯
				自宅
			電話	携帯

避難のときに持っていくもの

□懐中電灯　□携帯ラジオ＋予備電池　□非常食　□使い捨て食器
□タオル　□衣類・下着　□貴重品　□救急セット（常備薬）
□ロープ　□ちり紙・トイレットペーパー
□ローソク・マッチ
□その他（　　）

日ごろからの備え

■ハザードマップを確認しておきましょう！



土砂災害ハザードマップを見ながら、あなたの身の回りで、どこが土砂災害の起きやすいところなのか確認しておきましょう。
また、避難場所までのルートで、途中に危険なところがないかなどを確認しておきましょう。大雨などで、河川が増水した場合に、どの橋が安全に渡ることができるのか、事前に確認しておくことも必要です。

■非常品の持ち出し袋を準備しましょう

地震や、局地的で急な大雨によって、突然、避難情報が発表されることもあります。
いざというときにそなえて、非常品の持ち出し袋を準備しておきましょう。
また、中身も定期的に点検して、食料品の消費期限が切れている場合は新品に交換しましょう。

■家のまわりの水路や溝を掃除しましょう

大雨になると、家の周りの水路や溝などには大量の水が流れ込みます。ゴミや落ち葉が詰まっていると、流れてきた水があふれ出すおそれがあります。
水路や溝は、常に清掃しておきましょう。

■避難訓練に参加しましょう。

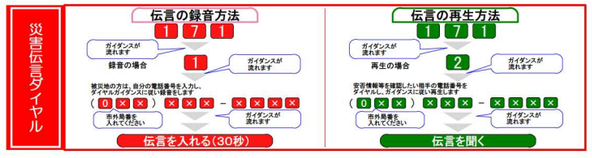
災害が起きたときに必要な助けや支援には、
1.自助（自分の身は自分で守る）
2.共助（自分たちの地域は自分たちで守る）
3.公助（自治体や消防・警察・自衛隊などが行う）
の３つに分けられます。
特に共助は、救助された人の全体のうち約７割の人が共助により助かった事例もあり、災害時の救助活動にとって重要な役割をはたしています。
避難訓練に参加することで、災害の基礎知識を得たり、避難場所や避難経路の確認ができるだけでなく、地域住民が連携・協力して「共助」の力を養うことにもつながります。

避難訓練

災害情報のとり方

災害発生前後の状況については、さまざまな伝達機関が情報を発信します。
こちらの情報を下に、早め早めの避難対策をとるようにしましょう。
また入手した情報をご近所に知らせることで、安否の確認や避難支援にもつながります。
まずは、自助（自分の命は自分で守る）、公助（地域の人たちで助け合う）につながる情報の確認ができるようにしておきましょう。

災害や防災に関する情報を、いつでも取れるようにしましょう。



避難のときの心得

避難する時には、次のようなことに注意し、安全に避難しましょう。

あらかじめ安全な避難経路を確認

狭い道、塀ぎわ、川べり等は避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

正確な情報収集と早めの行動

ラジオ、テレビなどで情報を確認し、危険を感じたら早めに行動しましょう。

防災無線や広報車の情報に注意！

避難指示や避難勧告は、広報車や防災無線からも知らされます。
これらの情報にも注意して、早めの対策をとりましょう。

はきなれた底の固い靴を

長ぐつは水が入るとかえって危険です。
はきなれた底の固い靴で避難をしましょう。

持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

高齢者、子供、病人を優先

手をつないで避難。
隣近所で助け合いましょう。